

## 平成26年度 事業実施報告書

### 第1 建築に係る調査・研究・開発に関すること

#### 1 特定専門研究委員会の設置・活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

本年度では、以下の6つの研究委員会が活動した。

- ・平成20年度設置・平成26年度継続
  - ①「低強度コンクリート建物の耐震技術研究委員会」（委員長 植松武是氏）
  - ②「マンション等の耐震性向上のための研究委員会」（委員長 石山祐二氏）
- ・平成24年度設置
  - ③「CB造の耐震診断基準及び補強法検討委員会」（委員長 吉野利幸氏）
  - ④「木造住宅の構造設計技術と普及に関する研究委員会」（委員長 奈良謙伸氏）
- ・平成26年度設置
  - ⑤「積雪寒冷地対応型太陽熱温水給湯システムの開発」（委員長 鈴木憲三氏）
  - ⑥「木造勾配屋根の水平耐力の確保・向上技術に関する研究委員会」（委員長 平井卓郎氏）

このうち、「CB造の耐震診断基準及び補強法検討委員会」、「木造住宅の構造設計技術と普及に関する研究委員会」、「積雪寒冷地対応型太陽熱温水給湯システムの開発」については、平成26年度で研究期間を終了した。

#### 2 調査研究等受託事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

本年度には、下記の5件の調査研究受託事業を実施した。

- ①「札幌版次世代住宅性能評価業務」（委託者：札幌市）  
札幌市では、独自の断熱・気密性能基準として、「札幌版次世代住宅基準」を平成23年度に規定しており、省エネルギー住宅を普及させることによって平成32年までに約29万トンのCO<sub>2</sub>削減（平成19年比）を目指している。  
本業務は、建築主等が基準適合住宅の認定を受けるために札幌市に申請した申請書及び設計図書等について、「札幌版次世代住宅性能評価申請書の手引き」及び「札幌版次世代住宅基準技術解説書」に沿って審査を行い、またこれに係る事業者等からの技術的な相談などに応じるものである。  
期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日 受託金額：4,808,700円
- ②「江別第三小学校耐震診断委託業務」（委託者：江別市）  
江別市第三小学校の耐震診断を行い、耐震補強などによって使用が継続できるか検討した。  
期間：平成26年4月8日～平成26年7月31日 受託金額：4,190,400円
- ③「滝の上発電所建屋施工支援委託業務」（委託者：北海道企業局）

北海道企業局が管理運営している滝の上発電所に隣接して建設する発電所建屋の改修工事の施工支援を行った。

期間：平成26年4月25日～平成26年10月30日 受託金額：1,458,000円

④「マンション不具合補修施工支援委託業務」 (委託者：北海道住宅供給公社)

Eマンション管理組合からの委託により、外壁スリーブ孔による耐震性能毀損の補修工事の施工支援を行った。

期間：平成26年6月16日～平成26年9月30日 受託金額：2,362,600円

⑤「マンション構造調査検討委託業務」 (委託者：民間会社)

期間：平成26年5月8日～平成26年6月30日 受託金額：486,000円

## 第2 住宅・建築に係る事業に関すること

### 1 コンサルタント事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

平成19年度より始め、平成22年11月に「研修講習等企画支援事業」実施要領を制定し、事業の拡大を図ってきたが、平成26年度では具体の実施事例はなかった。

### 2 B I S 認定・登録事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【その他事業】

B I S 認定事業について、今年度は下表のように認定制度運営委員会を1回、試験講習委員会を3回開催した。また、B I S 新規認定のための養成講習会2回と試験の実施、およびB I S 更新講習会を4回（札幌2回、旭川、帯広）実施した。また、平成16年度から始めたB I S -Eの試験（書類試験・面接試験）を1回実施した。

委員会	回数	開催日	場所
B I S 認定制度運営委員会	第1回	平成27年2月19日	KKR ホテル札幌
B I S 試験講習委員会	第1回	平成26年5月28日	エルプラザ
	第2回	平成26年11月14日	大五ビル 2階
	第3回	平成27年2月19日	KKR ホテル札幌

平成 26 年度 B I S 認定 講習会・試験等 の実施日

行事名	B I S 更新講習会				B I S 養成講習会		B I S 認定試験	B I S - E 試験
	第 1 回	第 2 回	特別 (帯広)	特別 (旭川)	第 1 回	第 2 回		第 1 回
開催 年月日 (曜日)	27. 1. 13 (火)	27. 2. 2 (月)	26. 12. 16 (火)	26. 12. 19 (金)	27. 1. 21 (水)	27. 1. 28 (水)	27. 2. 15 (日)	書類締切日 26. 8. 27 (水)
時間	13:30~16:30	13:30~16:30	13:30~16:30	13:30~16:30	9:30~17:00	9:30~17:00	13:30~16:00	書類審査 26. 9. 1 (月)
場所	北海道建設会館 9階 (大ホール)	北海道建設会館 9階 (大ホール) (大会議室)	帯広経済センタ ービル 6階 (大会議室)	(財)道北地域旭 川地場産業振興セ ンター (会議室)	北海道建設会館 9階 (大ホール)	北海道建設会館 9階 (大ホール)	北海道建設会館 中標津町総合文化会館 留萌地域人材センター	面接審査 26. 9. 5 (金)
受験・受講者数	153	200	52	60	60	61	144*	14

3 住宅リフォーム事業 (補助事業を含む) . . . . . 【その他事業】

住宅リフォーム事業部(部長：安田敦司氏)運営委員会を6回開催し、活動内容の企画・実施を行った。また、平成20年5月に当協会が「北海道住宅リフォーム推進協議会」に入会し、当協会の石山会長が推進協議会の会長として活動を継続している。

【補助事業】

① 国交省：一般社団法人住宅リフォーム推進協議会に申請していた「北海道地域住宅リフォーム推進事業」が採択され、平成26年8月25日付で契約した。契約金額は1,995,700円。事業内容として、消費者向け「北海道の住まいのリフォーム」を情報としたセミナーを開催した。

事業者向け「高性能エコリフォーム技術」を中心としたセミナーの開催、消費者向け住宅リフォーム冊子の印刷などである。

この事業内容の一部を北海道住宅リフォーム推進協議会に、「26年度北海道住宅リフォーム冊子印刷・セミナー開催等事業」として委託した。事業内容は、消費者向け住宅リフォーム冊子の印刷、セミナーの開催などである。委託金額は1,072,300円。

② 建築技術教育普及センター：「積雪寒冷地における混構造（1階RC造、2、3階木造）住宅の構造設計技術普及事業」として、3都市でセミナーを開催した。参加者は、旭川会場22名、帯広会場38名、札幌会場135名、計195名であった。また、補助金で下記の講習会テキストを作成した。

1. 混構造3階建て住宅の構造設計の要点 ((一社)北海道建築技術協会発行)
2. 混構造3階建て住宅の構造計算 ((一社)北海道建築技術協会発行)

補助金額は914,603円。

③ 北海道：「積雪寒冷地対応型太陽熱温水給湯システムの開発」を北海道の道産エネルギー製品開発支援事業として、研究委員会を設置して実施した。モニターを3件募集し、実測、調査を行い、1月に研究成果の報告会を行った。

補助金額は2,600,000円。

#### 4 住宅リフォーム事業者登録事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

北海道内における住宅リフォーム事業者の登録制度については、平成21年2月より登録申請受付を開始し、最初の3年ごとの登録更新時期を迎えた。平成27年4月1日現在、登録されている事業者は141社である。

#### 5 北海道住宅検査人登録事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

当協会は、北海道R住宅推進協議会が制度設計した既存住宅の現況調査と改修アドバイスを行う「北海道住宅検査人」の認定登録業務の実施機関に平成21年6月に指定された。登録講習会を平成26年12月1日、更新講習会を平成27年2月12日、平成27年3月4日、札幌市において実施した。登録者はそれぞれ2名、59名であった。平成26年度末現在の登録者数は101名である。

国土交通省では、「長期優良住宅化リフォーム推進事業」として、補助金制度を設けた。補助金申請は公募とし、内容は評価基準に基づく長期優良住宅化リフォームで、補助率は1/3（上限100万円/戸）とした。

補助金申請には認定されたインスペクターによる検査が必要条件であるとし、このためインスペクターを養成するための講習団体の募集が行われた。

インスペクターの養成を行うため、講習会を行い、インスペクションを実施できる者の公表を行う団体の募集を行った。

これまでに8団体が認定を受けた。当協会の住宅検査人制度を国交省の要求に適合させ、国交省の事業に北海道住宅検査人が関与できるよう講習団体の登録を申請した。

### 第3 建築等の普及・啓発に関すること

#### 1 H○BEA 講演会 2015 の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

平成26年度は平成27年1月30日（金曜日）札幌エルプラザ 3階 ホール（札幌市北区北8条西3丁目）において、「瑕疵の無い建物造りを目指して」をテーマに講演会を開催した。

基調講演として、札幌地方裁判所民事3部 部総括判事 長谷川恭弘氏が「建築紛争と民事裁判」と題して民事裁判の類型、裁判における建築紛争の特色、書面作成の重要性などについて

て講演した。続いて、日本建築学会司法支援建築会議北海道支部 幹事 平井保則氏が「札幌における建築関連紛争の状況」と題して建築関係者と司法、最近の紛争状況、紛争回避などについて講演し、さらに、北海道大学大学院工学研究院 准教授 長谷川拓哉氏が「建築物の劣化・欠陥の原因と対策」と題して外装タイルの剥落の事例、事故防止のノウハウなどについて講演した。この講演会には、当協会々員を始め一般関係者を含めて、111名の参加があった。また、終了後にエルプラザ地下1階において懇親会が開催され、31名が参加した。

#### 4 機関紙「会報 No11」の発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

当協会の機関紙は、「会報 No11」として平成27年1月に発行された。

内容としては、前回同様、三研究会がそれぞれの分野を受け持って構成する形を踏襲した。巻頭に、当協会副会長鈴木憲三氏が『「感情面」や「経済面」も含めて自由に環境やエネルギーのことを語る場を』と題する寄稿を掲載した。

そのほか、各研究会が担当し、構成した内容は、次のとおりである。

##### ○メーソソリー建築研究会

- ・煉瓦の刻印 独立行政法人 建築研究所 建築生産研究グループ長長谷川直司氏
- ・小名浜魚市場 復興整備事業 横河建築設計事務所 宮下克則氏・坂本昌司氏
- ・外断熱外装材としてのコンクリートブロック アトリエブク 池島光俊氏
- ・ブロック住宅がつくる町並みの再生 山之内建築研究所 山之内裕一氏

##### ○外断熱建築研究会

- ・学校施設耐震補強等工事における外断熱工法の採用 釧路市教育委員会  
学校耐震化推進室長 宮下誠氏
- ・建築後44年外壁タイルの剥落防止に外断熱工法を採用 (有)大橋建築設計室 大橋周二氏

##### ○建築診断研究会

- ・低強度コンクリート研究委員会研究紹介セミナーの報告
- ・コンクリートの非破壊検査技法の理論と実施事例研修会の報告
- ・免震レトロフィット技術交流会・現場見学会の報告
- ・CB造建築物の耐震診断規準の概要

ここまで、北方建築総合研究所 環境科学部構法材料グループ主査 植松武是氏  
「滝の上発電所改修工事見学」 協会理事 駒木根洋一氏

##### ○木質構造研究会

- ・木造の構造設計技術と普及に関する研究委員会報告
- ・木造勾配屋根の水平耐力の確保・向上技術に向けて
- ・木質材料・木造建築物に関する情報

ここまで、北方建築総合研究所 環境科学部構法材料グループ主査 植松武是氏

##### ○環境・設備・エネルギー研究会

- ・積雪寒冷地対応型太陽熱温水給湯システムの開発 協会副会長 鈴木憲三氏

##### ○事業部

- ・住宅リフォーム事業部の活動

1. 「性能向上リフォーム」の推進に関する情報発信
2. 国費による補助事業の申請
- ・協会事業部：最近の活動
  1. BIS認定事業
  2. 北海道住宅リフォーム事業者登録制度
  3. 北海道住宅検査人制度

○協会が頒布している本・報告書・冊子

○事務局から

なお、例年協会会報には「会員紹介」のページを設け、掲載の法人会員から広告代をいただいているが、今回の会報No. 11には10社の掲載がありました。

## 5 普及啓発資料の作成等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

既刊普及資料の頒布（主なもの）

「よくわかる！外断熱工法」	3冊
「丈夫で長持ち・快適住宅のすすめ」	1冊
「住まいの断熱読本」	18冊
「RC造 外断熱の疑問に答える」	5冊
「B I S 北方型住宅の熱環境計画」講習会以外で	69冊
「住まいの高性能リフォームの技術」	2冊
「住まいの高性能リフォームの技術」事例編	3冊
「RC造 外断熱改修工法ハンドブック」	11冊
「住宅検査人登録講習会テキスト」講習会以外で	2冊
「高性能リフォームの計画」	8冊

## 6 ホームページの改訂運用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

平成17年において開設した当協会のホームページについては、当協会の決定事項を始め、諸行事・諸案内、活動内容を掲載し、また、必要に応じて関係他団体・機関等が主催する行事・会合を案内する等の利用を図っている。平成26年度では、新規事業・情報等の掲載、各内容の更新を行った。また、当協会会長石山祐二氏の(社)建築研究振興協会「建築の研究」に連載されている「ちょっと真面目チョット皮肉」シリーズを、本協会HPに転載することの了承を得て、連載コラムとして掲載している。

## 第4 建築技術者・技能者等の育成・研修に関すること

### 1 外断熱関係研修会(会員向け)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

平成26年7月18日(金)エルプラザにおいて、会員及び関係社員を対象とした外断熱研修会を開催した。NPO外断熱推進会議常務理事の堀内正純氏による、海外の外断熱事情の最新動向について話題提供、当協会理事の駒木根洋一氏より『トマムタワー外断改修などコンサルタント活用の可能性について』と題する講話があった。研修会には34名の参加があった。また、終了後恒例のビール会が札幌ビール園で開催され、35名の参加があった。

## 2 メーソナリー関係研修会(会員向け) . . . . . 【継1事業】

平成27年3月30日(月)、エルプラザ2階環境研修室において、会員及び関係者を対象とした研修会を開催した。講演は「各種コンクリートブロック構工法の耐久性評価」と題して北海道大学大学院 工学研究院 准教授 長谷川拓哉氏が耐久性上の問題点、有効かぶり厚さ、目地の水分移動性状・中性化などについて解説した。北方建築総合研究所 環境科学部構法材料グループ 主査 植松武是氏は「メーソナリー建築物の配筋規準の概要」と題して2013年改定のAIJ壁式構造配筋指針について解説した。最後に、山之内建築研究所代表 山之内裕一氏が「住宅デザインにコンクリートブロックは可能か」と題してコンクリートブロック造住宅の魅力と可能性について講演した。26名の参加があった。

## 3 技術者向けセミナー、説明会の開催 . . . . . 【継1事業】

- ① 平成26年6月3日(火)、札幌エルプラザ 環境研修室において、セミナー「積雪寒冷地における太陽熱温水器の導入方策と効果」をプログラム(「太陽熱温水器の利点と課題」:鈴木憲三氏、「太陽熱温水器の最近の技術進歩」:矢崎エナジーシステム 相曽一浩氏、「真空管式太陽熱温水器の紹介」:西澤設備工業 西澤正人氏、「積雪寒冷地向け太陽熱温水器の提案ほか」:エス・ティ総合研究所 高村慎介氏)にて開催した。参加者は39名であった。
- ② 平成26年9月11日(木)、札幌エルプラザ 環境研修室2 おいて、「性能向上リフォーム技術セミナー」を、事業者向け内容(「建物の雪害トラブルを防ぐために注意すべきこと」:高倉政寛氏、「既存機械換気システムの清掃・改修事例から考えて見た」:三浦眞氏)にて開催した。参加者は54名であった。
- ③ 「木造住宅の構造設計技術セミナー」を下記日時、会場で開催した。一般規模の木造住宅における自由度の高い設計を行うためには構造計算が必要となることから構造設計・構造計画の基本的な考え方と構造計算の具体的方法について解説した。
  - ・2月5日(木) 13:30~16:30 旭川市(旭川地場産業振興センター) 参加者22名
  - ・2月16日(月) 13:30~16:30 帯広市(帯広経済センタービル) 参加者38名
  - ・2月20日(金) 13:30~16:30 札幌市(自治労会館大ホール) 参加者135名講師:平井卓郎氏(北海道大学大学院農学研究院)  
植松武是氏((地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所)
- ④ 「シニアコンサルタントオープンカレッジ」の開催  
当協会に所属するシニアコンサルタントによる研修会を札幌エルプラザにおいて開催した。  
第1回:11月4日(火) 19:00~21:10(参加者26名)

- 城 攻 ----- 建築物の積雪被害と積雪荷重の考え方  
 南出 孝一 ----- コンクリートのひび割れに関する二三の話題  
 第2回：11月11日（火）19：00～21：10（参加者16名）  
 谷 吉雄 ----- 免震構造と免震レトロフィットについて  
 斉藤 豊 ----- 鋼管コンクリート構造の活用について  
 第3回：11月25日（火）19：00～21：10（参加者16名）  
 橋本 健一 ----- 鋼構造建築と金属材料の溶接  
 間口 和博 ----- 耐震補強に立ちはだかるアスベスト

#### 4 消費者向けリフォームセミナーの開催（後援）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

- ① 平成26年5月31日（土）13時30分から、札幌エルプラザ環境研修室において、「住宅リフォームセミナー・相談会」を、一般市民向けの内容（「北海道R住宅システムの概要と補助金制度について」：服部倫史氏、「性能向上リフォームの事例紹介」：奈良顕子氏）にて開催した。また、セミナー終了後に希望者によるリフォーム相談会を実施した。このセミナーは北海道住宅リフォーム推進協議会が後援した。参加者は24名であった。
- ② 平成27年1月24日（土）13時30分から、ホテルガーデンパレス札幌において、「住宅リフォーム講座・相談会」を一般市民向けの内容（「住宅リフォームの進め方」「北海道の暮らしにあったリフォームのポイント」：山本明恵氏）にて開催した。また、希望者によるリフォーム相談会を実施した。この講座は北海道住宅リフォーム推進協議会と（一社）住宅リフォーム推進協議会との共催で、北海道の後援を得て当協会住宅リフォーム事業部が企画した。参加者は32名であった。

#### 5 研修会など・・ 【継1事業】

- ① 「北方建築総合研究所の調査研究発表会」に参加  
 平成26年5月20日（火曜日）、旭川市の北方建築総合研究所の調査研究発表会に参加のバスツアーを実施し、12名が参加した。
- ② 「特定専門委員会研究結果報告」・「法人会員会社の技術紹介」  
 平成26年12月4日（木）14：30から、札幌エルプラザ 環境研修室において平成25年3月末で終了した特定専門委員会の以下の報告会がなされた。
- ・CB造建物の耐震診断規準及び補強法検討研究委員会（吉野利幸委員長）  
 「CB造建物の耐震診断規準の概要」 北方建築総合研究所 植松 武是 氏
  - ・木造の構造設計技術と普及に関する研究委員会（奈良謙伸委員長）  
 「混構造3階建て及び枠組壁工法構造計算手法の開発と普及」 奈良 謙伸 氏
  - ・煉瓦造建物の耐震診断規準委員会（南出孝一委員長）  
 「耐震診断規準の適用と実施例」 日本データサービス(株) 重永 真孝 氏
- また、研修会の終了後、17時15分から「ぶあいそ別邸」（北区北8条西5丁目 北大南門前）において、会員交流・忘年会を開催した。参加者は研修会に31名、交流・忘年会に28名であった。



## 6 北海道住宅検査人登録講習会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

平成26年12月1日(月)午後、大五ビル2階 会議室において、既存住宅のリフォーム前の現況調査を行い、適切なリフォームアドバイスを提示する「北海道住宅検査人」の登録申請に必要な受講講習会を開催した。参加者は合わせて13名であった。

平成27年2月12日(月)午後、大五ビル2階 会議室、平成27年3月4日(水)午後、自治労会館において、既存住宅のリフォーム前の現況調査を行い、適切なリフォームアドバイスを提示する「北海道住宅検査人」の登録更新申請に必要な受講講習会を開催した。参加者は合わせて55名であった。

## 7 見学会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

### ① 免震レトロフィット技術交流会・現場見学会」の実施

平成26年9月24日(水)、北海道建築技術協会主催、免震レトロフィット工法研究会及び日本免震構造協会 免震設計部会 入力地震動小委員会共催で標記見学会を実施した。現場見学は札幌高地裁耐震改修工事(地下1階基礎下免震「トンネル工法」)と北海道庁本庁舎耐震改修事業(地下2階中間階免震「免震装置プレロード工法」)の2カ所。併せて、現場見学終了後に意見交換会、交流会を行った。参加者は見学会47名、意見交換会35名、交流会28名であった。

### ② 外断熱建物の現場見学会

平成26年10月7日(火)、「札幌元町郵政宿舍」、「住宅金融麻生宿舍」の見学を行った。共に建設後30年程度経過した建物で、建設後の改修経歴などを踏まえて、現状を見学した。各々約16名の参加。

### ③ 「滝の上発電所レンガ造建屋改修工事見学会」の実施

平成26年10月16日(木)、滝の上発電所レンガ造建屋改修工事見学会を実施した。建築技術協会は、滝の上発電所既設建屋に隣接して建設する発電所建屋工事による既設建屋のれんが外壁の崩落防止と、建屋の継続使用時の安全性確保のため、平成24年度から3か年にわたり、滝の上発電所既設建屋の耐震補強設計並びに補強後の耐震性の検討、補修・補強工事の技術支援を行ってきた。平成26年9月をもって滝の上発電所既設建屋の改修工事が完了したことから、滝の上発電所れんが造建屋改修工事見学会を開催した。参加者は13名であった。

### ④ 澄川の家見学会」の実施

平成26年12月25日(木)、高断熱、パッシブ換気、薪ストーブ輻射暖房など、高性能高機能住宅の見学会を実施した。参加者は23名であった。

### ⑤ 太陽熱温水器設置モニター住宅の見学会」の実施

平成26年12月25日(木)、8月から北海道の道産エネルギー製品開発支援事業「積雪寒冷地対応型太陽熱温水給湯システムの開発」に着手し、3件のモニターの設置工事完了に見学会を実施した。参加者は6名であった。

## 第5 関係機関、団体等との連携

### 1 社団法人日本建築学会との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

現在、社団法人日本建築学会の構造専門委員会を始め、各種委員会等に当協会々員が委員等として参画した。

### 2 関係機関等との連携・協力・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

従来から連携を図り、協力関係にあった国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所、北海道立北方建築総合研究所、社団法人全国建築コンクリートブロック工業会、(社)日本建築構造技術者協会北海道支部、及びその他の団体等と情報の交換等を行った。  
また、当協会では全国耐震ネットワーク委員会の会員となって、情報交換を行っている。

## 第6 その他

### 1 会員数の推移

平成26年度中における入・退会状況は、次のとおりである。

会 員 数 の 推 移 (社・人)

会員区分	26年度 期 首	期 中 移 動				26年度 期 末
		入会	退 会			
			退会	10条1項 適用	10条4項 適用	
法人A会員	64	4	2		1	65
法人B会員	10	2	1		1	10
個人 会員	122	5	4			123
特別 会員	1					1
計	198	10	10			199

### 2 会議の開催状況

平成26年度における会議の開催状況は、次のとおりである。

#### 【総会】

平成26年5月22日(木曜日)15時30分からホテル札幌ガーデンパレス2階丹頂の間において開催。記念講演は福島明氏(北海道科学大学工学部建築学科教授)が「HoBEA

の社会を変える力」ーコンサルタント事業の目指す方向ーと題して行った。その後、4階平安において懇親会を開催した。

#### 【理事会】

- 第1回理事会 平成26年5月8日(木曜日)、札幌アスペンホテル
- 第2回理事会 平成26年6月16日(月曜日)、札幌アスペンホテル
- 第3回理事会 平成26年8月20日(水曜日)、札幌アスペンホテル
- 第4回理事会 平成27年1月21日(木曜日)、札幌アスペンホテル
- 第5回理事会 平成27年3月23日(月曜日)、札幌アスペンホテル

#### 【常任理事会】

常任理事会は第1回から第4回までメール会議により開催。

#### 【幹事会】

- 第1回幹事会 平成26年5月12日(月曜日)、札幌エルプラザ
- 第2回幹事会 平成26年7月15日(木曜日)、札幌エルプラザ
- 第3回幹事会 平成26年9月16日(火曜日)、札幌エルプラザ
- 第4回幹事会 平成26年10月23日(火曜日)、札幌エルプラザ
- 第5回幹事会 平成26年12月17日(水曜日)、札幌エルプラザ
- 第6回幹事会 平成27年1月25日(水曜日)、札幌エルプラザ

#### 【各研究会・事業部運営委員会】

- ・メーソンリー建築研究会
- ・外断熱建築研究会
- ・建築診断研究会
- ・木質構造研究会
- ・環境・設備・エネルギー研究会
- ・コンサルタント事業部
- ・B I S認定事業部
- ・住宅リフォーム事業部

以上